

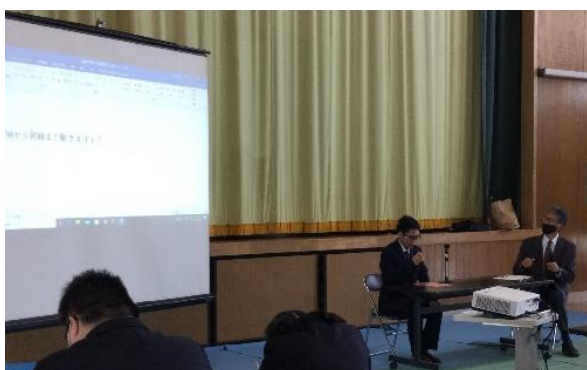
進路だより

福島県立猪苗代支援学校
進路指導部
令和3年 7月19日



高等部は明日から、小・中学部は明後日から夏休みとなります。暑さに負けず、どうかお身体にお気をつけください。さて、今回の進路だよりでは、先輩の話を聴く会と、中学部・高等部による前期校内・校外実習、進路セミナーについてお知らせします。

先輩の話を聴く会



5月12日(水)に、先輩の話を聴く会を行いました。講師は、平成30年度に本校高等部を卒業し、下郷作業所ホイップに勤めている舟木一真さんです。中学部・高等部の生徒が参加し、インタビュー形式で仕事の内容や、仕事に気を付けていること、休みの日の過ごし方など、「今の仕事と生活」というテーマでお話をいただきました。講話の最後には、学校を卒業して社会で働くために、どのようなことをがんばれば良いか以下のアドバイスをいただきました。

- ① あいさつをすること
- ② 体調に気を付けること
- ③ けんかをしないこと
- ④ 友達と仲良くすること

進路セミナー

7月3日(土)授業参観日に会津若松市にある有限会社利通の代表取締役の眞鍋利光様を講師として、「障がい者雇用の実際と今後の課題」について講話をいただきました。

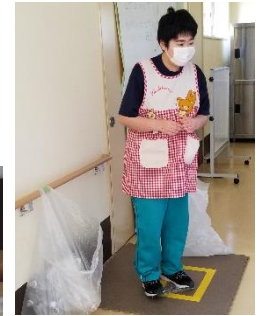
現在利通には様々な障がいのある方が働いています。障がい者雇用をすることにより会社の弱みであった出勤率が強みに変わっていったとのことでした。また、働く上で大切なのは「コミュニケーション」だと話されており、その人に合ったコミュニケーションができるように職業相談員と一緒に考えて解決しているそうです。子ども達に合っている仕事が見つかれば職場で能力が発揮され、職場の強みとなっていくので、保護者の方にはぜひお子さんの強みをアピールしてほしいという話がありました。



前期校内実習



6月7日(月)から、中学部は11日(金)までの1週間、高等部は18日(金)までの2週間、3つの班に分かれて前期校内実習を行いました。箱折り班では、菓子箱折りを行いました。3か所の作業場に分かれてそれぞれの工程を担当し、協力して箱を仕上げることができました。今回は、2種類の箱折りに取り組み、10個入りのものは上箱と下箱それぞれ1,900個、9個入りのものは上箱1,900個、下箱1,800個出荷しました。リサイクル班では、ペットボトルを分別したり、つぶしたり、キャップを数えたり、目の前の作業に黙々と取り組むことができました。生活班では、個別の活動計画の中で、リサイクル班と一緒に活動を行いました。分別の手順を覚えて取り組むことができました。



後期校内実習は
11月8日(月)
から2週間実施
する予定です。

産業現場等における実習

(前期校外実習)

6月7日(月)から6月18日(金)の間、高等部の8名の生徒が校外実習を実施しました。コロナ禍ですが、実習を受け入れてくださった企業や事業所に感謝をしながら、感染症対策を行い実習に臨みました。生徒はそれぞれ前期実習での目標を決め、自分の進路希望実現に向け、それぞれの職場で緊張しながらも実習に取り組みました。実習終了後には実習を振り返り、実習報告会で、成長できた点や今後の課題について考え、自分の進路に対する考えをより具体的なものにすることができました。

